

台風説明会

令和元年 台風第19号

令和元年10月10日14時

鳥取地方気象台

台風説明会を始める前に

防災情報専用のTwitterアカウントを開設しました
～気象庁の“危機感”を直接あなたに届けます～

気象庁では、顕著な災害の発生が予想される、あるいは既に発生している緊急時等において、気象庁がもつ危機感をより効果的に発信し、避難行動や復旧活動等の防災行動に役立てていただくため、気象庁防災情報Twitterアカウント(@JMA_bousai)を開設し、10/4から運用を開始しました。

本アカウントでは、当面、台風の接近等による大雨や、地震、火山噴火の発生等により顕著な災害の発生が想定される、あるいは既に発生している場合に、現況や今後の見通し、防災上の留意事項、緊急記者会見の内容等、広く国民の皆さんに情報を発信していきます



【気象庁防災情報Twitterアカウント】

URL: https://twitter.com/JMA_bousai

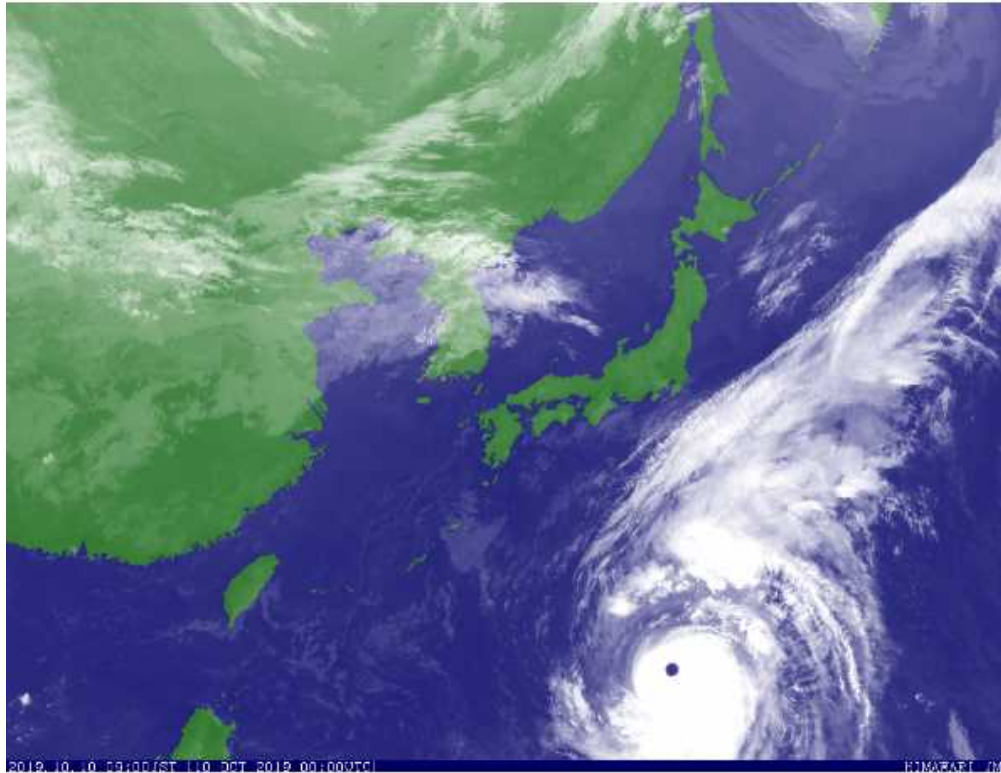
アカウント名: @JMA_bousai

名前: 気象庁防災情報

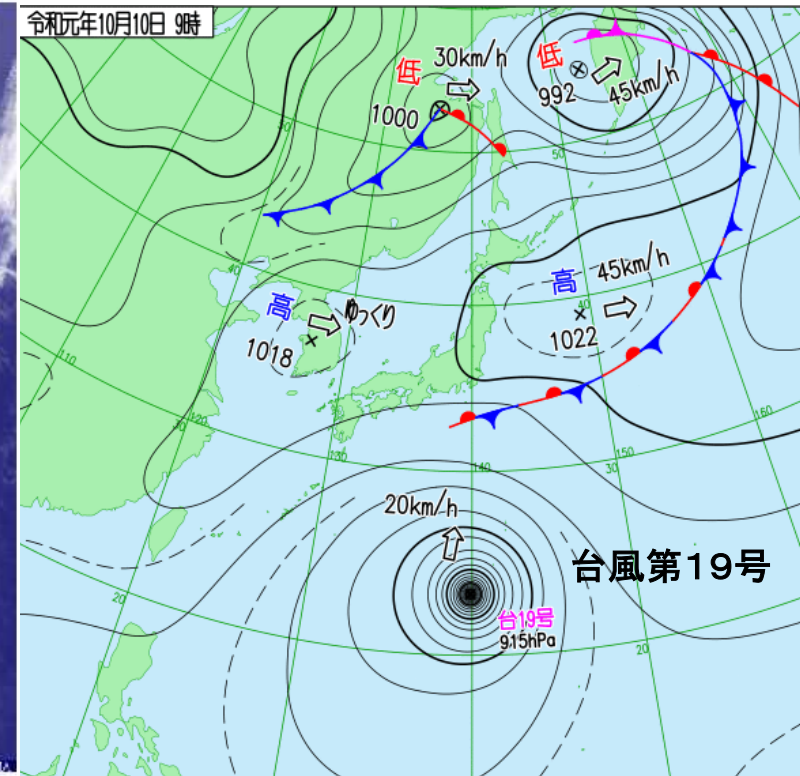
本アカウントをフォローする際は、Twitterがそのアカウントが本人のものであると確認した証拠のマーク(認証バッジ)を確かめてから行って下さい。

気象衛星画像と地上天気図

鳥取地方気象台
台風説明会資料
(令和元年10月10日)



10月10日09時の衛星赤外画像



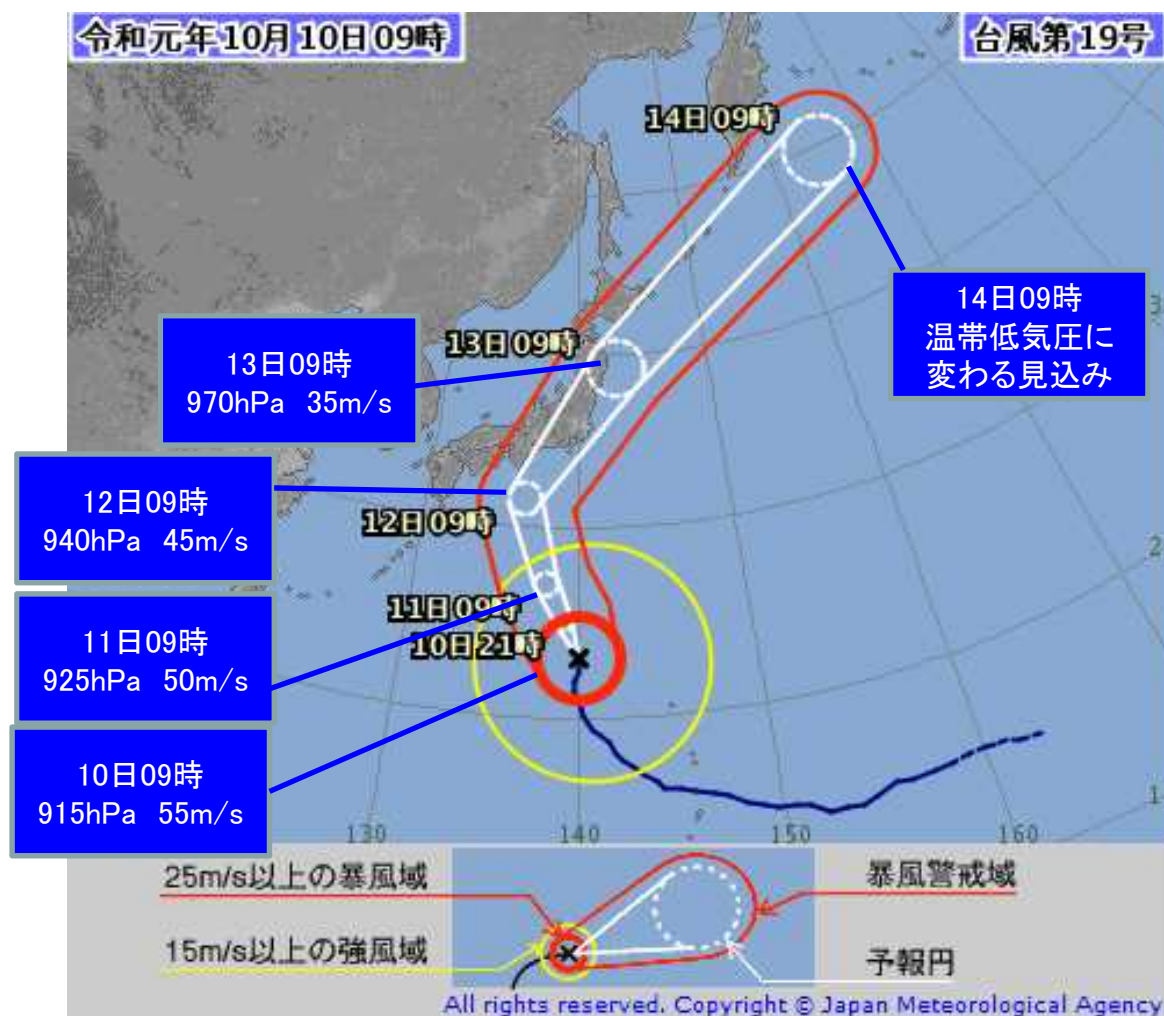
10月10日09時の天気図

台風第19号進路予想

鳥取地方気象台
台風説明会資料
(令和元年10月10日)

120時間予想

10月10日09時 現在



台風第19号(ハギビス)
＜令和元年10月10日09時の実況＞

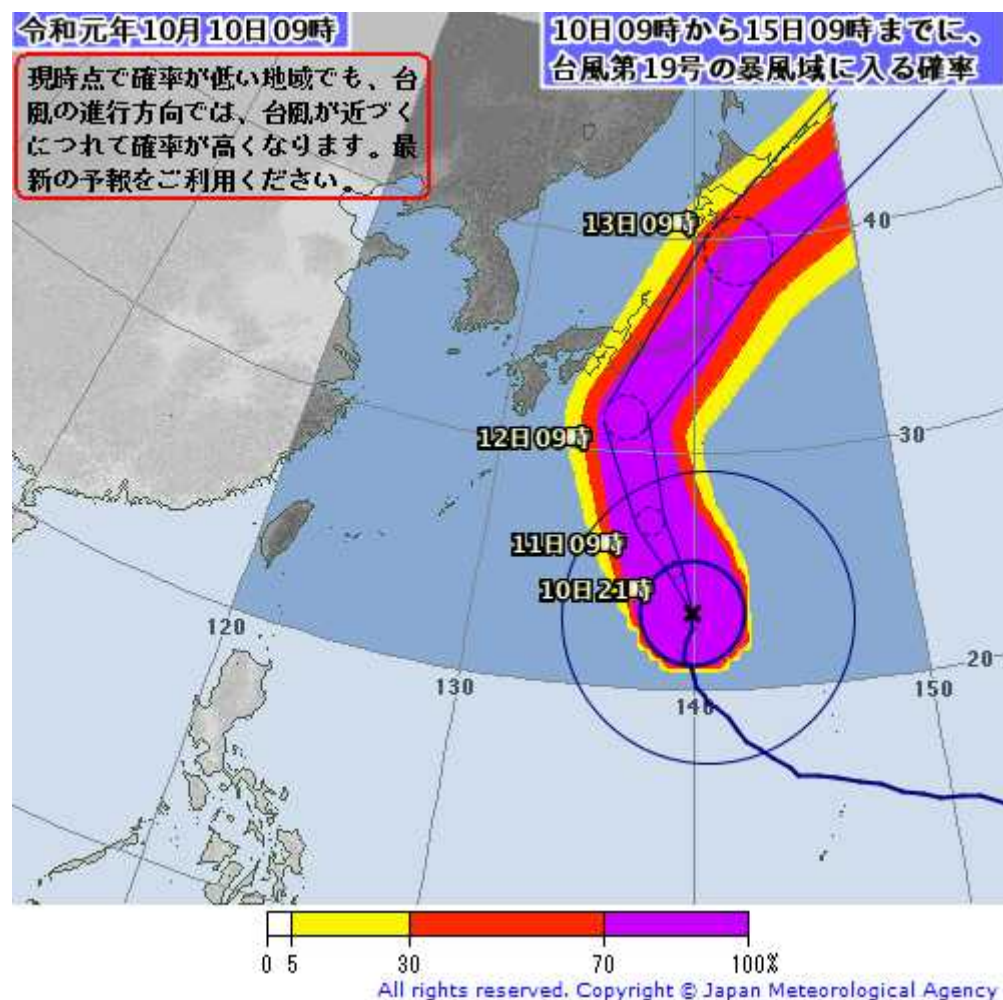
大きさ 大型
強さ 猛烈な
存在地域 父島の南南西約490km
中心位置 北緯 23度10分(23.2度)
東経 139度55分(139.9度)
進行方向、速さ 北 20km/h(10kt)
中心気圧 915hPa
中心付近の最大風速 55m/s(105kt)
最大瞬間風速 75m/s(150kt)
25m/s以上の暴風域
全域 240km(130NM)
15m/s以上の強風域
東側 750km(400NM)
西側 600km(325NM)

今後の予想を含めた最新の情報は気象庁ホームページをご利用ください。
(台風情報:<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

暴風域に入る確率

鳥取地方気象台
台風説明会資料
(令和元年10月10日)

120時間予想

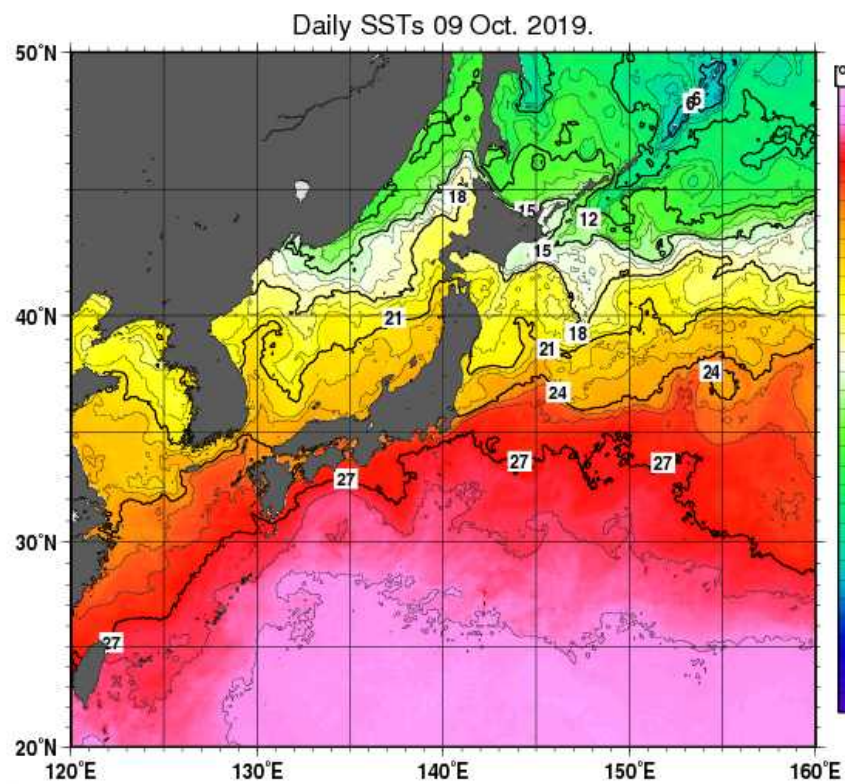


10月10日09時 現在

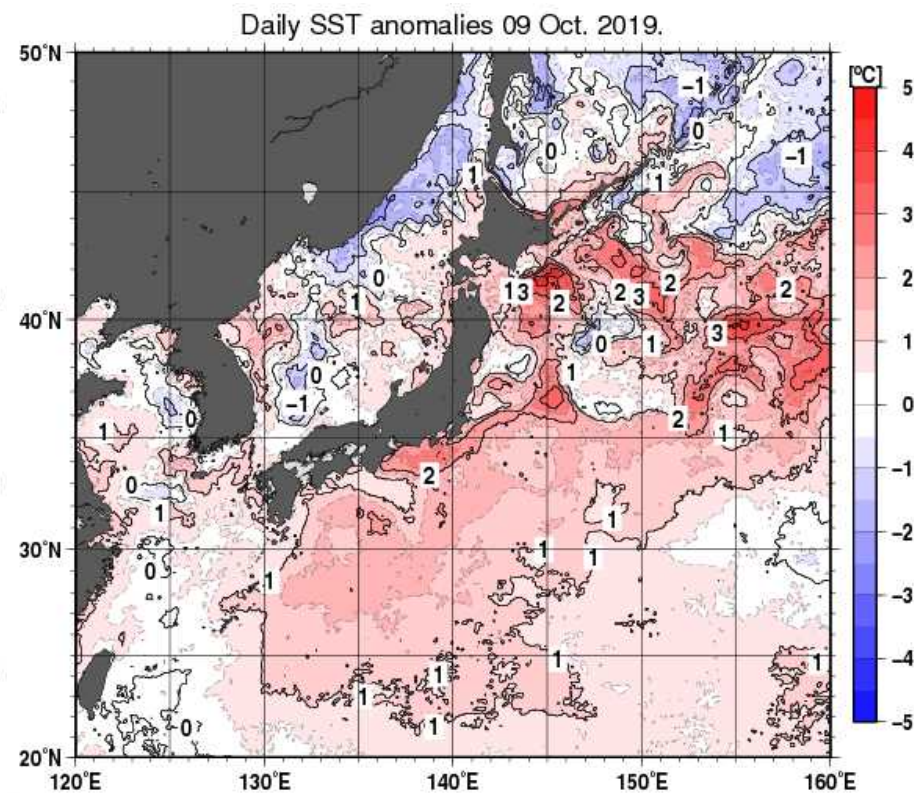
今後の予想を含めた最新の情報は気象庁ホームページをご利用ください。
(台風情報:<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

海面水温

鳥取地方気象台
台風説明会資料
(令和元年10月10日)



日別海面水温



平年差

10月9日

台風第19号による鳥取県への影響※予報円の中心を通った場合 10月10日09時現在

鳥取地方気象台
台風説明会資料
(令和元年10月10日)

【概況(進路)】

- ・ 台風第19号は、非常に強い勢力を維持して、12日から13日にかけて、西日本から東日本に接近し、上陸するおそれがあります。
- ・ 鳥取県の最接近は、12日昼過ぎ～夕方頃
- ・ 強風域の期間は、11日夜遅く～13日にかけて

【影響のポイント】

- ①12日午後から山沿いを中心に土砂災害に警戒
- ②海上では、12日午後から大しけの可能性が高い
- ③海上や沿岸部を中心に北寄りの強い風・非常に強い風に注意

◇雨について

- ・ 北東から湿った空気が入り続けることにより、降水量が多くなる可能性がある。

◇予想雨量

- ・ 10日12時～11日12時の24時間降水量は多いところで 全域 5ミリ未満
- その後、

11日12時～12日12時の24時間降水量は多いところで 全域 およそ50～100ミリ
その後もさらに増える見込み。

◇風・波について

- ・ 最接近以後も急激に遠ざかることが無い見込み。12日午後は暴風警報の可能性があり、波浪警報の可能性が高い

※今後、気象台が発表する最新の警報・注意報・気象情報に十分留意してください。

台風第19号の防災バーチャート (予報円の中心を通った場合のおおよその見通し)

鳥取地方気象台
台風説明会資料
(令和元年10月10日)

★は警報発表のタイミングを示す。

			11日							12日				13日	
			0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-24時
			未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
台風最接近												最接近			
大雨(土砂)	東部											★			
	中・西部														
大雨(浸水) (ミリ)	東部														
	中・西部														
洪水	東部														
	中・西部														
暴風 (メートル)	東部	陸上	3↶	2↶	2↶	3↵	4↵	4↵	10↵	12↷	やや強い	やや強い	強い	強い	やや強い
		海上	3↷	3↷	5↶	6↶	6↷	9↷	12↷	15↷	強い	強い	非常に強い	非常に強い	強い
	中・西部	陸上	3↷	3↷	4↷	5↵	6↷	6↷	10↷	12↷	やや強い	やや強い	強い	強い	やや強い
		海上	3↶	4↷	5↷	6↷	8↷	9↷	12↷	15↷	強い	強い	非常に強い	非常に強い	強い
波浪 (メートル)	東部										高い	しけ	大しけ	大しけ	前半は大しけ
	中・西部										高い	★しけ	大しけ	大しけ	前半は大しけ
高潮 (メートル)	東部														
	中・西部														
			警報級	注意報級											

警報級 注意報級

10月10日09時 現在

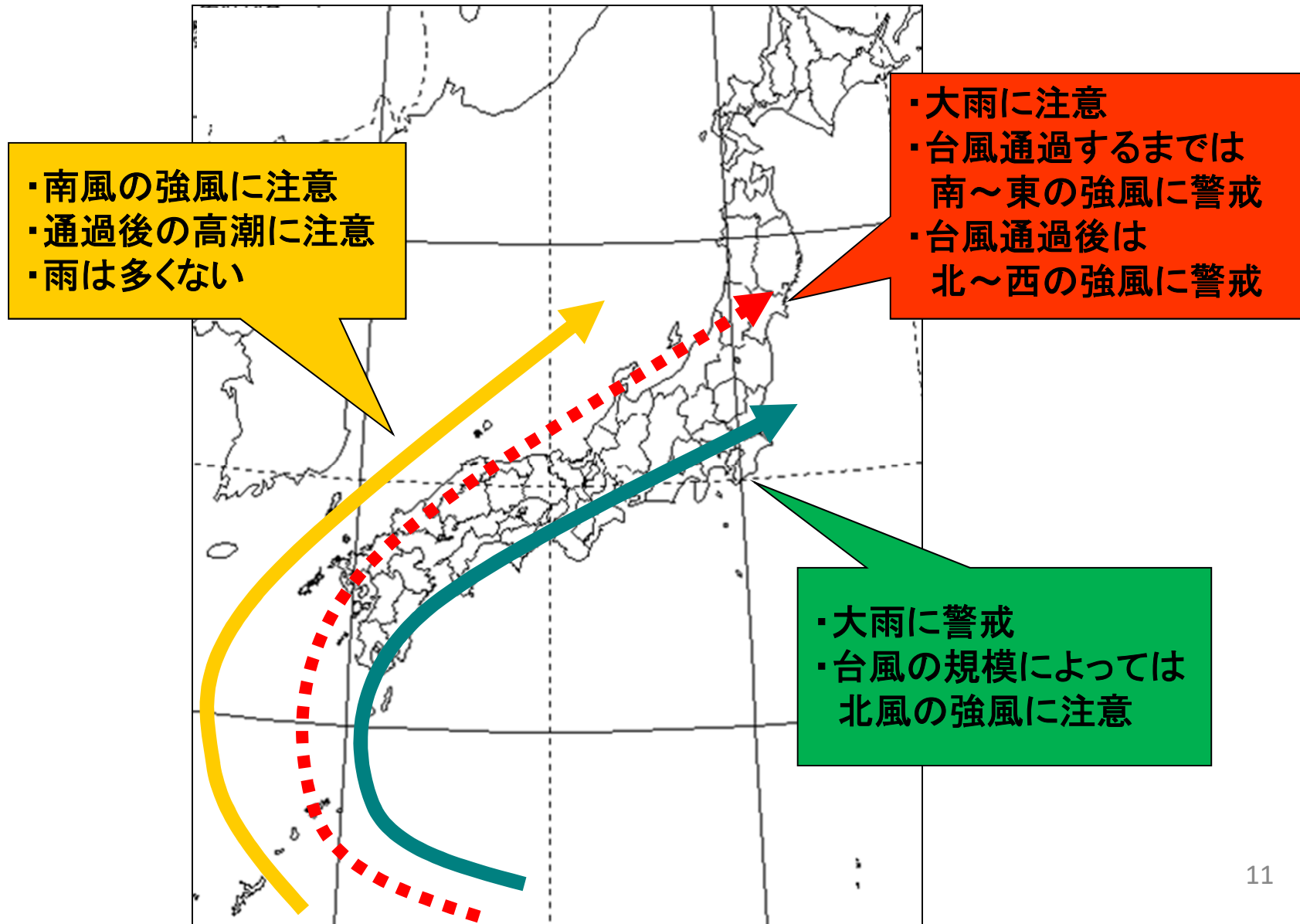
今後の予想を含めた最新の情報は気象庁ホームページをご利用ください。
(台風情報:<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>)

台風の接近に備えて

- 気象台の発表する警報・注意報など気象情報に留意するとともに、市町村の避難勧告等に注意してください。
- 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水など、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予め確認し、雨や風が強まる前に早め早めの安全確保をお願いします。
- 屋外での作業や不要な外出等は控え、海岸や増水した河川・用水路など危険な場所には絶対に近づかないようお願いします。
- 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください。

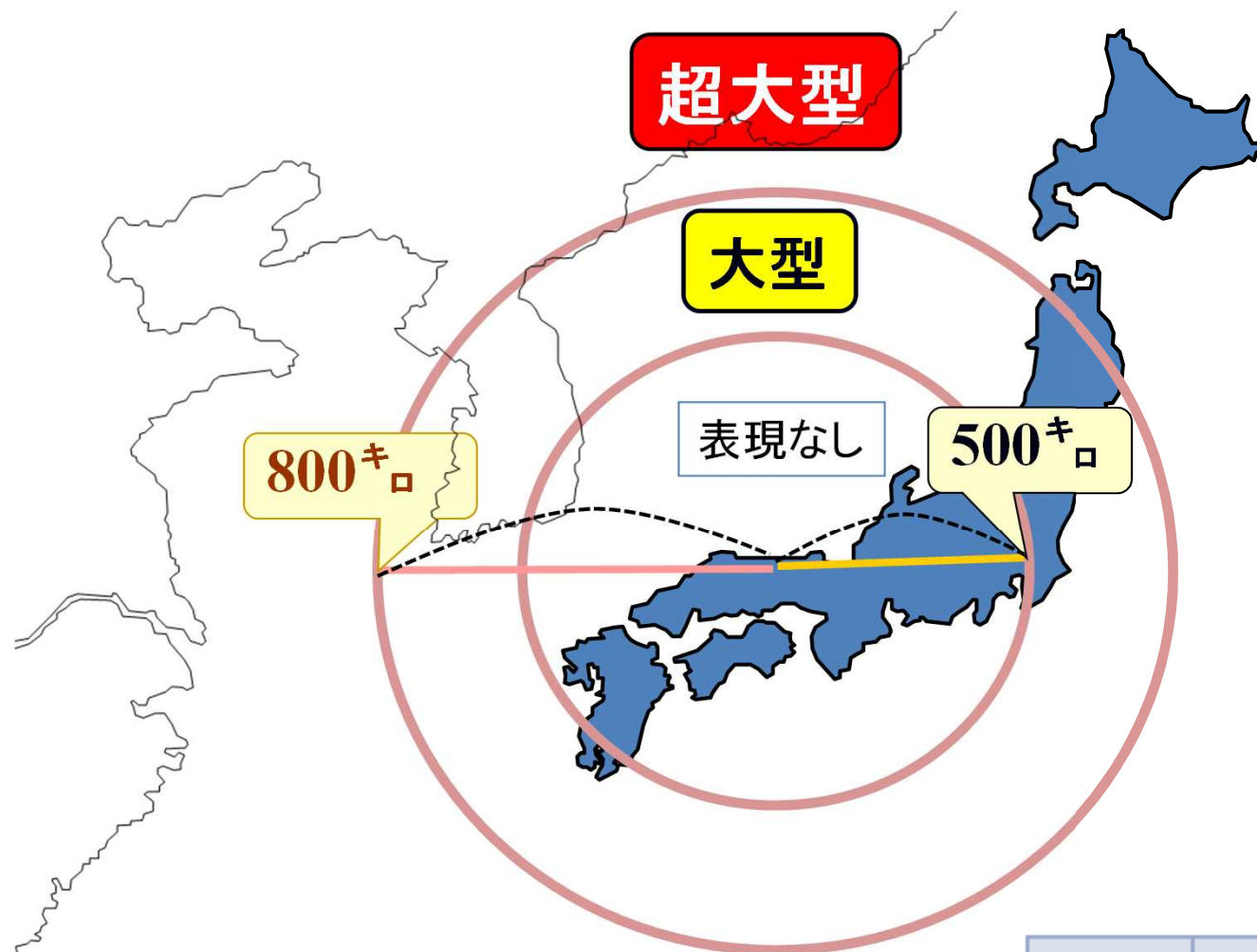
参考資料

台風進路別による鳥取県への影響



台風の大きさと強さについて

参考資料



大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

風の強さ

参考資料

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていけないと 立っていられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始め る。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	30
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						60

雨の強さ

参考資料

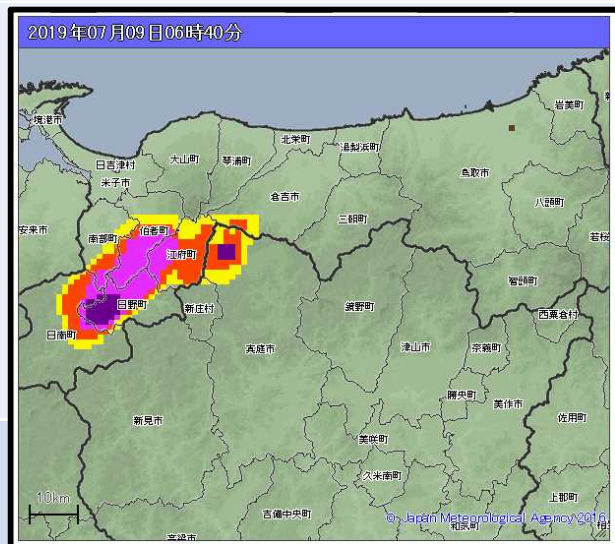
1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる		道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる				

危険度分布

参考資料

大雨警報(土砂災害)

大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域(メッシュ)ごとに5段階に色分けして示す

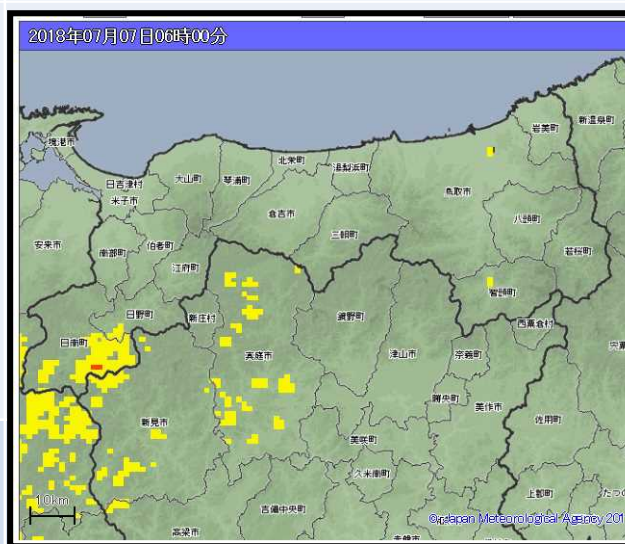


大雨警報(土砂災害)の危険度分布



大雨警報(浸水害)

短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりを、地図上で1km四方の領域ごとに5段階に色分けして示す

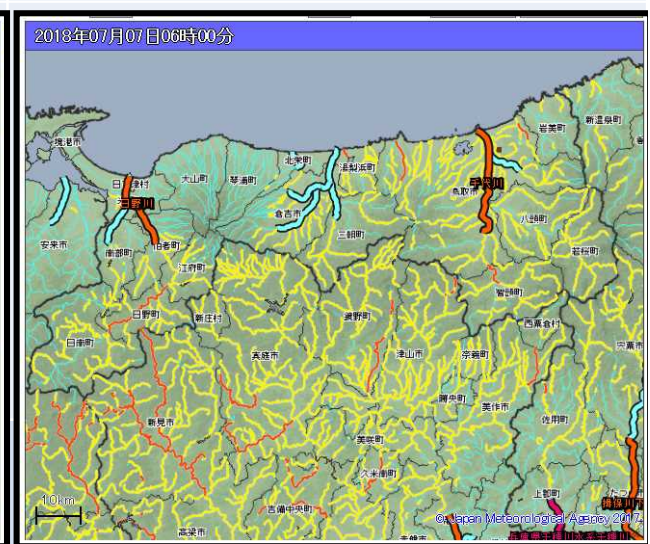


大雨警報(浸水害)の危険度分布



洪水警報

指定河川洪水予報の発表対象でない中小河川(水位周知河川・その他の河川)の洪水害発生の危険度を地図上で概ね1kmごとに5段階に色分けして示す



指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。



洪水警報の危険度分布



危険度の高まりに応じて段階的に発表する防災気象情報

